

国立大学法人宮崎大学教育研究評議会（平成19年度第2回）議事要旨

日 時 平成19年5月24日（木）13：00～14：43
場 所 事務局大会議室
出 席 者 住吉学長、菅沼理事、碓理事、高崎理事、松川理事、水光副学長、谷本副学長、
教育文化学部：作田学部長、岩本教授、医学部：河南学部長、池ノ上教授、
工学部：平野教授、農学部：小八重学部長、赤尾教授、福田産学連携センター長、
中山フロンティア科学実験総合センター長、永田附属図書館長
欠 席 者 工学部：本田学部長、村岡共通教育部長

1．前回議事要旨の確認

前回（平成19年度第1回）議事要旨（案）（配付資料1）が確認された。

2．議題

（1）宮崎大学名誉教授称号授与について

学長、教育文化学部長、医学部長、工学部長及び農学部長から配付資料2により平成19年度宮崎大学名誉教授被推薦者の推薦理由等について説明があり、審議の結果、名和行文氏他10名の被推薦者全員に宮崎大学名誉教授の称号を授与することが了承された。

（2）インドネシア国とのリンケージプログラムの実施について

碓理事から、配付資料3によりインドネシア国とのリンケージプログラムの実施について、入学資格や就学期間等詳細の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（3）国立大学法人宮崎大学基本規則等の一部改正（案）について

企画課長から、それぞれ配付資料4-1により国立大学基本規則の一部改正（案）、配付資料4-2により宮崎大学入学委員会規程の一部改正（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3．報告

（1）宮崎県と国立大学法人宮崎大学との包括的連携に関する協定書（案）について

企画課長から、配付資料5により宮崎県と国立大学法人宮崎大学との包括的連携について説明があり、現在のところ、役員会で原案の承認を受けた後、県議会が終わる6月26日に協定を締結するという予定で進めていきたい旨報告があった。

また、連携推進会議は、必要に応じて開くということになっているが、最低限の回数を定期的に設けた方がよいのではという意見もあった。

（2）インターネット放送局「MYAOH」について

菅沼理事から、配付資料6によりインターネット放送局「MYAOH」について報告があり、この取り組みは今後広報戦略上重要になると考えられるので、各部局からの話題提供に関して協力してほしい旨要請があった。

（3）平成19年度科学研究費補助金申請・採択状況について

菅沼理事から、配付資料7により平成19年度科学研究費補助金の配分状況について報告があり、各学部毎の集計結果を踏まえて、更に科学研究費補助金の採択件数を上げるよう努力してほしい旨要請があった。

（4）各学部等の動向報告について

教育文化学部長、平野教授（工学部長の代理）、医学部長、農学部長、医学部附属病院長、永田附属図書館長、福田産学連携センター長、中山フロンティア科学実験総合センター長から、席上配付資料により各学部等の報告があった。

4. その他

(1) シニアサマーカレッジの実施について

碓副学長から、シニアサマーカレッジの実施についてJTB及び県と最終的に打合せをして、実施するということが正式に決定した旨報告があった。

(2) 教員の勤勉給の成績優秀者について

学長から、教員の勤勉給の成績優秀者について、従来は定数の全てを部局に配分していたが、評価の対象を部局内での活動に限らず、全学的な視点からできるよう、各部局長だけでなく副学長も成績優秀者を推薦できるようにする旨報告があった。また、成績優秀者全員について、推薦理由書を提出してもらう旨説明があった。

(3) 入試担当副学長、共通教育部長の選任について

学長から、入試担当副学長に共通教育部長の村岡教授を、共通教育部長に共通教育部副部長の西森教授を選任する旨報告があった。

(4) 次回教育研究評議会の開催について

学長から、次回の教育研究評議会は6月28日（木）13時00分を予定している旨報告があった。